

第3号議案

日本司法福祉学会 2022年度活動計画（案）

- 2022年4月23日
第1回（第8期第4回）理事会（オンライン）
- 2022年5月28日
2022年度総会（オンライン） 議事の提案及び説明、質疑討論
議事は学会HPにおいても提示
採決は葉書による

学会総会を5月実施とした理由は以下のとおりです。
学会の年度は4月1日から翌年3月31日までです。全国大会開催の8～9月に総会を開催していました。コロナ禍により2020年度は全国大会が開催できず、2021年度は全国大会をオンラインで開催しました。したがって、この2年はHPでの議事の掲示、葉書による採決になりました。2022年度の全国大会は12月開催を予定しており、年度後半に総会を開催するのは適当ではないと判断しました。今後の全国大会と総会の時期については、総会の方法を含めて第8期理事会で取りまとめたと考えています。

- 2022年度8月20日
第2回（第8期第5回）理事会
日本福祉大学東京サテライト
- 2022年12月17日～18日
日本司法福祉学会第22回全国大会
帝京平成大学中野キャンパス
第3回（第8期第6回）理事会
- 2022年12月
「司法福祉学研究」第22号刊行

例年2月に開催する司法福祉研究集会は、本年度は12月に全国大会を開催するため開催を見送ります。

- 2023年3月
学会編「司法福祉（全面改訂版）」発刊

組織整備に関する理事会の方針

- 昨年度、理事会において、総会及び全国大会の持ち方、学会誌のあり方、前期理事会で実施した会員アンケートの結果の活用などの諸課題について、学会全体の重要な問題として統一的に検討する「学会改革タスクフォース（仮称）」を立ち上げて検討する方針とした

各委員会の活動方針

1. 総務委員会

- ・2023年度総会での議論ができるよう、学会規約及び細則の見直し作業を進めていく

2. 編集委員会

- ・『司法福祉学研究』第22号の編集・刊行
 - 2021年11月より作業開始/2022年12月中の刊行を目標
 - ・学会誌編集作業の改善に向けた検討
 - 困難事例の分析および課題整理
 - 学会誌編集関係文書・書式類（編集規定・投稿規定/執筆要領・投稿申込書/フローチャート等）の検討・改訂作業着手
 - 編集委員会の体制整備/査読委員の体制整備
 - ・理事会の学会組織整備に係る議論の中での検討
 - 学会誌のあり方（学会の性格付けとのリンク如何/学術雑誌としての水準向上/研究発表機会確保/学会ウェブサイトとの連携・分担/電子ジャーナル化 etc.）
 - 学会研究倫理指針の検討（アップデートの要否・内容等）/倫理委員会審査のあり方
- etc.

3. 国際委員会

- ・会員による国際活動に関する費用補助制度の整備
 - 会員による海外開催学会における報告、海外の研究者を招聘した研究会活動の促進のため、費用補助制度の整備を行う。
- ・会員による国際活動活性化のための情報提供
 - 過年度も交流を行ってきた National Organization of Forensic Social Work をはじめ、その他の関連領域学会についても、学会の開催情報等を、学会HPや会員宛のメールを通じて発信する。